



三原中だより

平成29年度 第2号
発行 平成29年5月26日
八丈町立三原中学校

「叱ってもらえる幸せ」

校長 大澤 道明

山々の新緑が眩しくそして美しい季節となりました。じっと眺めていると、本当に「美しいな」と感じます。皆さんはどうか。老眼が進行している私にとって、この新緑は目にも心にも癒しの風景となっています。今、八丈島では爽やかな気候ですが、内陸では既に猛暑日（35℃）になっている地域も出てきました。そんな時に心配なのは“熱中症”です。どんなに健康な人でも、体の水分バランスが崩れると危険です。私は今年から、やや本格的に農作物を作り始めました。草取りをしていると、元来汗っかきの私は衣服が濡れるほど大量の汗をかきます。作業中に中腰状態からスッと立ち上がると軽いめまいが・・・これは危険の合図。無理をせず早めの休養と適度な水分補給は必ずしなければなりませんね。

先日、テレビで「叱ってもらえる幸せ」というテーマを取り上げていた対談番組を観ました。ある論者が、『叱ってくれる人をもつことは大きな幸福であり、叱ってくれる人がいないことは寂しいことだ。どんな人でも、より多く叱ってもらうことで、進歩向上が得られると思う。叱られて反感をもち、不愉快な態度を示すことは、再び叱ってもらえる機会を失うとともに、自己の進歩はもうそれで行き詰まりとなる可能性も大きくなる。叱ってもらうことは自己向上のための財産であることを感じて、これを受け入れてこそ、そこに効果が生まれるのだと思う。修行途中の人（若い人）は、叱ってもらうことの尊さを知り、叱られることに大いなる喜びを感じる境地に到着してほしい。』これは、色々な場面に当てはまると思います。中学生にとっては少し難しく感じる人もいるでしょうね。また実現するためには、「周りの大人たちが、怒りではなく、しっかり叱ることができる」ということが不可欠だと考えます。学校の教育活動だけではなく、ご家庭や地域でも、場面に応じてしっかりと叱る事ができれば、三原中生たちの進歩向上にも効果が現れてくると思います。これからも周りの大人の力で、学校とともに伸び行く若い芽を育てていただければと思います。

新年度がスタートして早くも1ヵ月半が過ぎました。3年生の修学旅行は最終日だけ雨に降られましたが、全行程を無事に終えることができ、1, 2年生は晴天の中、乙千代ヶ浜での合同遠足で交流を深めることができました。学習重点週間（他校では中間考査）が終わり、部活動の運動部では遠征に向けての本格的な活動が始まっています。東京都中学校体育連盟主催の都大会につながる大会は、一部の種目を除いて春季大会、夏季大会、秋季大会（新人大会）と年間3回開催していますが、島しょ部からは日程や費用等の関係で夏季大会予選（種目により島しょ大会も含む）への参加のみです。そのため、生徒たちも今が一番熱の入った活動期間だといえます。しかし単独チームで参加できるのは富士中学校サッカー部だけです。バスケットボール部（男女）は富士中学校と、サッカー部は大賀郷中学校と、バレーボール部は3校全てとの合同チームのため、合同練習を実施するためには保護者の皆様の送迎のお力添え無しには行えません。皆様のご協力、心より感謝いたします。そんな中、サッカー部は富士中学校と島しょ大会（都大会の一部）出場のための代表決定戦を6月3日（土）、10日（土）に南原スポーツ公園にて行います。サッカー部保護者の皆様だけではなく、地域の方々の応援が生徒たちの力となりますので、会場での応援をお待ちしています。

〈三原中学校の教育目標〉

人間尊重の精神を基調とし、豊かな社会の形成に貢献できる人間を育成する。

○やさしい人

○たくましい人

○よく学ぶ人

〈校訓〉

『紳士たれ・淑女たれ』

三原中学校ホームページ <http://www.hachijomachi-tky.ed.jp/miharachu/>

「修学旅行を終えて」



3年生にとって最初の大きな行事といえば修学旅行です。都内での班別行動から始まり、広島での平和学習、奈良の観光、そして京都での班別行動と、盛りだくさんの全行程をけが人や風邪をひく生徒もなく、無事に終えることができました。

これらの準備は、「人任せにしない」をテーマに昨年度から進めてきました。班別行動の見学地を決めたり、必要な経費を算出したり、班員で協力し合って行程を決めました。

修学旅行の当日は、自分たちで立てた計画を基に見学地を回り、歴史や文化に触れ、様々な知識を身に付けて帰ってきました。一方、計画より時間に余裕が出てしまったときや電車が遅延し集合場所に間に合わなかったときなど、その場で起こったアクシデントに対しても、班員で相談し冷静に対処していました。修学旅行を通じて、学ぶことはたくさんありました。

(3年学年主任 小泉 雅一)

「1・2年合同遠足を終えて」



中学校生活への期待と不安が入り混じり、少し疲れも見えてきた中で、合同遠足が行われました。始まる前から楽しみにしている様子が伝わってきて、メニュー決めの話し合いのときもたくさんの笑顔が見られました。当日は火おこしに苦戦する班がたくさんあり、計画通りにいかない場面もありました。しかし、そのような場面でも班でよく協力できていました。

準備を念入りにすることやしおりに見て行動することなど今回の遠足で学んだことを経験にして、来年は中心となって引っ張って行ってほしいです。

(1年担任 峯重 透)

「考えて行動する」

今回の合同遠足は「先輩として取り組む」という、前回とは異なる心境が2年生にはありました。準備の段階では「うまくできるかな」と不安な様子もありましたが、2年生が1年生をリードしてスムーズに行事が進行していきました。「先輩がしっかり後輩をリードしていく」という三原中学校の伝統を受け継いだ姿を見せてくれたと思います。この合同遠足を通じて「人任せにせず、自分たちで考えて行動する」という集団行動の基本を理解することができたようです。この基本を移動教室でも発揮してほしいと思います。

(生徒作文より)

「時間を守ることや協力することが大切だと思った」、「不安な部分もあったが、みんなでカバーしあって楽しめた」、「協力して1つのことを乗り越える達成感があった」、「2年生として1年生に何をしてあげられるか、改めて考えることができた」、「いろいろな人と話をしたり、レクを一緒にしたりと、交流することができてよかった」

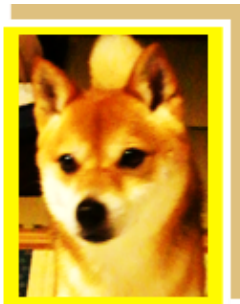
(2年担任 久保 淳)



懐かしい声が届きました♪

<現 大賀郷中学校 高木 孝裕 副校長先生> 夢の1年 三原中

今、目が開き、夢から覚めたらやはり大中の職員室にいました。そんな感じさえします。理想の授業を求め、東進ハイスクール、早稲田アカデミーと修行し、教員試験にやっと合格。練馬区石神井東中、中野区第十中学校と荒れた学校を懸命に修復、品川区の小中一貫システムに戸惑い、長年の夢であった島に渡りました。御蔵島小中学校での3年間では、理科教育をもう一度見直し、勉強し直しました。八丈島に渡り、円熟期となった大賀郷中学校での6年。そして、日本一の学校、三原中へ。いや〜本当に楽しかったです。やりたいことができ、それに応えてくれて、教師としてこんなうれしいことはありません。私にとって最高の1年でした。もっといたかったなというのが本音です。とくに、2年生とあと2年一緒に勉強したかったと思っています。三原中学校の生徒・教職員の皆さん、どんどん挑戦して、どんどん三原中に磨きをかけていってくださいね。坂下から応援しています。会ったら遠慮なく声を掛けてください。これからは、副校長として八丈島の子どもたちのために働くというやりがいや少しづつ見つけていきたいと思っています。管理職だからできることもあるでしょう。島の子供



たちの成長のため、将来のために貢献するという初心は変わっていません。これから、私もあらたな希望をもって頑張っていく所存です。もちろん気象予報士にも挑戦し続けていこうと思います。高い壁を越え、将来は、八丈島の天気予報と言ったら、高木先生と言われるよう活躍したいです。まめ吉はもう5歳になりました。「ジャンプ」というと柵を乗り越えていけるようになりました。

保護者・坂上の地域の皆様、中之郷（土次第）に5年、三原中に1年間お世話になりました。またいつかきっとご縁があると思います。その時はよろしくお願ひします。ありがとうございました。

<現 八丈町立富士中学校 養護 川口 美保 先生> お世話になりました！

こんにちは、富士中学校の川口美保です。この挨拶にも慣れてきました。3月に三原中学校を後にしましたが、どうやら私は16年間も在職していたようです。保護者の皆様、地域の皆様、在職中は大変お世話になりました。

三原中学校といえば、人数の少なさを生かした縦割りでの活動がたくさんあること、坂上3つの地域から生徒が集まること、スクールバスで登校する生徒がいることなど特色がたくさんある学校です。そんな三原中学校で、人数の少なさを感じさせないパワフルな生徒の皆さんと一緒に過ごすことができたことは、私にとって何よりの経験でした。1年1年が新鮮でした。…16年もいたとは思えません。

4月から勤務する富士中学校は全校生徒96名、クラスの人数は三原中学校の全校生徒と同じくらいです。教室が狭く感じ、勉強する環境として気の毒に思うほどですが、そんなことは気にしない明るく元気な富士中生です。

最近は合同部活動等で頑張る三原中生の話をよく耳にします。同じ八丈島の中学生として、これからも応援し続けたいと思っています。今まで本当にありがとうございました。また、これからもよろしくお願ひします。

<現 クアラルンプール日本人学校 平賀 公章 先生>

三原中学校の皆さんご無沙汰しております。私は、6年間公私ともにお世話になった八丈島を離れ、マレーシアのクアラルンプール日本人学校へ派遣されました。

熱帯雨林気候に属しているマレーシアは1年を通じて常夏の気候です。日中は陽射しも強く30℃を超えますが、夕方になると毎日決まったように雨が降り気温が下がるため比較的過ごしやすいです。学校の敷地は東京ドーム2個分の広さがあり、毎日教室への行き来が大変です。校内は植物に溢れ、パパイヤなどの実がなっていたり、見たことのない鳥やリス、たまにサルが来たりとまさに南国です。八丈島で見たことのある花なども咲いていて、見る度に懐かしさを覚えます。生活面では、クアラルンプール

は思っていた以上に近代的で日本と変わらない物が手にはありますが、日常会話が英語なので少々苦労しております。心からもっと英語を頑張っていればよかったと思う反面、これを機に英語で会話ができるようになろうと現地の方と積極的に話したり、密かに家庭学習ノートを作り自宅で勉強したりしています。まだまだ勉強することはたくさんありますね。一生勉強だと思ってこれからも頑張っていきたいと思います。みなさんも自分の夢や目標に向かって、楽しく！勉強もしていきましょう！

<現 足立区立第七中学校 佐久間 ともか 先生>

八丈島を離れ、1ヶ月が過ぎました。春の日差しと嵐の中で梅雨に備え、清々しい夏を待っていた、これまでの新学期を懐かしく思う今日この頃です。

4月より足立区立第七中学校へ異動となりました。三原中の1.2倍(!)の生徒たちに囲まれ、まずは名前を覚えなければ…と毎日頑張っています。これまでと大きく環境が変わり、戸惑うことも多いのですが、そのような時には三原中での経験を振り返ると自然と自信が湧いてきます。

八丈島で過ごした5年間は私にとって大切な宝物です。たくさんの方々の温かさに支えられ、教員としても人間としても大きく成長することができました。素晴らしい環境の中で島の教育や文化に携わることができたことを、新たな場所に身を置いた今、改めて実感しています。これまで関わって下さった皆様全員に、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

さらに大きく成長した子どもたちや温かな地域の方々に再会できること、思い出深い17時の町歌を聴くことを楽しみに(笑)、また八丈島に帰りたと思います。またお会いしましょう！5年間、本当にお世話になりました！

<6月の主な行事予定>

日	月	火	水	木	金	土
5/28	5/29 朝礼	5/30 SC勤務日	5/31 島しょ研	6月1日 島しょ研 *放学	2日 英語検定	3日 漢字検定 (大賀郷中)
4日 開校記念日	5日 朝礼・安全指導 専門委員会	6日	7日 歯科検診 SC勤務日 職員会議	8日	9日 教育実習(終)	10日 芝生 ボランティア
11日	12日 朝のつどい プール清掃 SC勤務日	13日	14日 合同避難訓練 小中会 放学	15日	16日	17日
18日	19日 朝礼 期末考査 一週間前 放学	20日 SC勤務日 放学	21日 職員会議 放学	22日 放学	23日 放学	24日 土曜授業
25日	26日 期末考査①	27日 期末考査②	28日 期末考査③ 小中交流会 SC勤務日	29日	30日	7/1

* SC勤務日：スクールカウンセラーの勤務日

* 放学：放課後学習教室

お子様の様子が気になるときはいつでも学校へご相談下さい。(学校7-0057)

<学校以外の相談窓口>

☆八丈島教育相談所(2-0591) ☆東京都いじめ相談ホットライン(03-5331-8288)

☆東京都教育相談センター(03-3360-8008)

☆東京都児童相談センター(03-3202-4152)